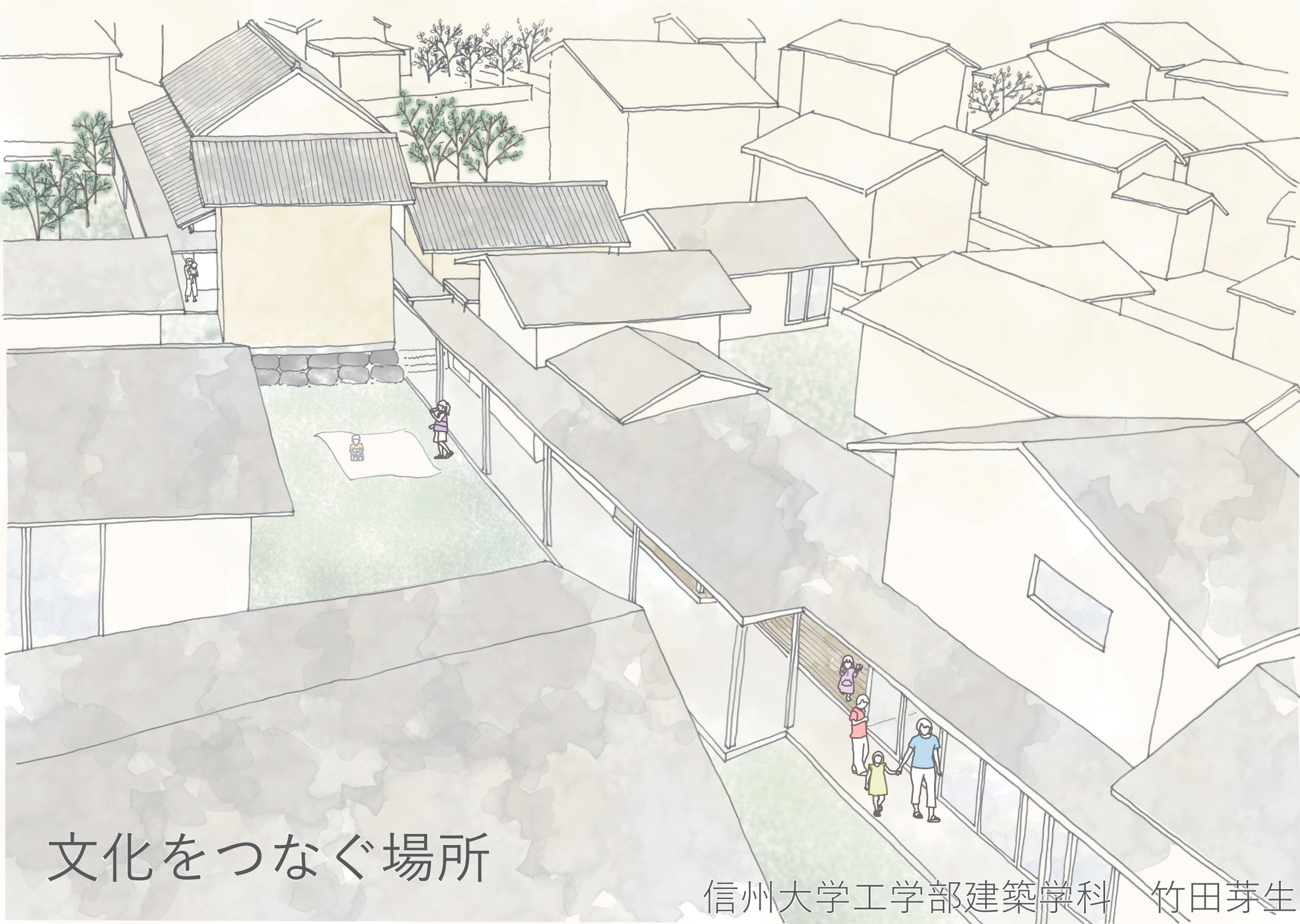




文化をつなぐ場所

信州大学工学部建築学科 竹田芽生

01. はじめに

古民家リノベーションなど**古いものを活用**しようとする取り組みへの注目



都市開発などにより**まちの破壊**がすすめられている場所も少なくない

要因：後継者不足

→日常生活の中で古いものに触れ、**自分が暮らすまちの文化に愛着をもつ**

→人々が築いてきた**文化を後世につないでいく**

02. 須坂市について

現在も蔵の町並みや土蔵などがのこる魅力あるまちである

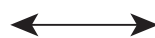


無形文化ものこる

03. 調査



町全体が落ち着いた雰囲気
祇園祭などの無形文化も存在する



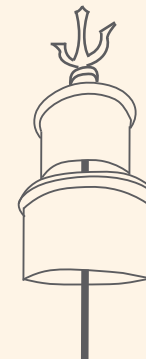
市に寄付された伝統的建造物は
博物館的な利用にとどまっている

04. 提案

町家や土蔵などの形ある文化



祭りなどの無形文化



子育て世代
須坂の文化に触れ、
後継者となる



地域住民
須坂の文化を伝え、
魅力を再発見する

伝統的建造物→保育園

子供たちが日常的に古いものに触れる機会を提供

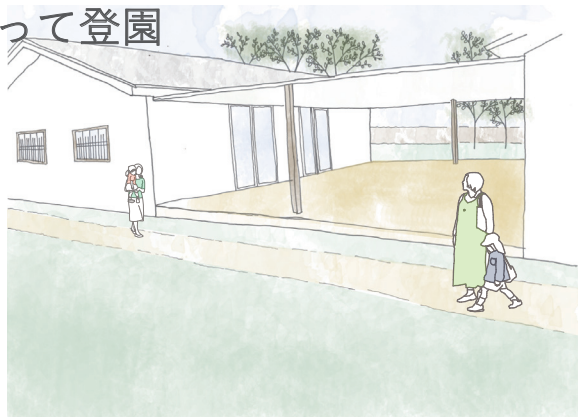
須坂の文化に愛着を持ってもらう

05. 平面計画

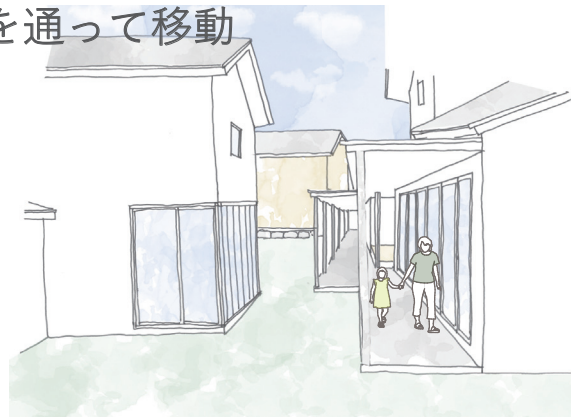


園児たちは東西軸に移動して1日を過ごす

小道をって登園



下屋をって移動



庭で遊ぶ

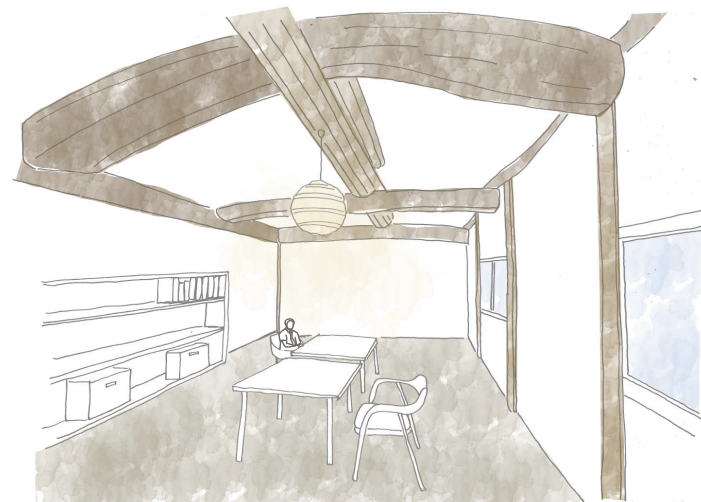


05. 平面計画 旧越家住宅



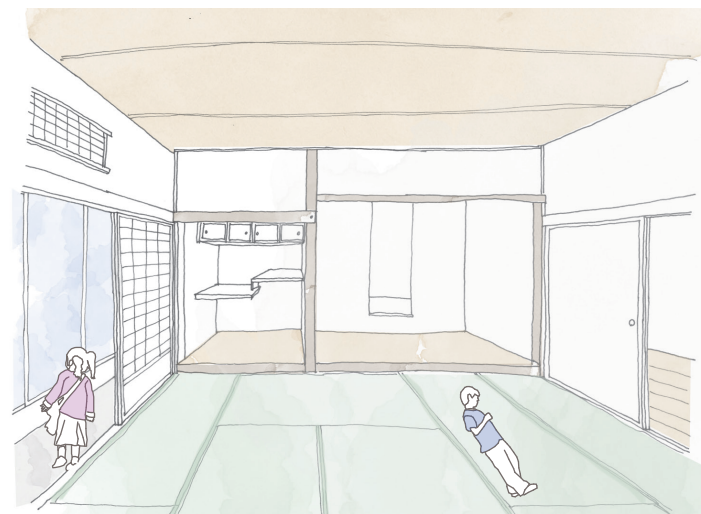
1. 土蔵：図書館

静かな空間で本を読む



2. 座敷：保育室

畳の上で寝る・昼食をとる

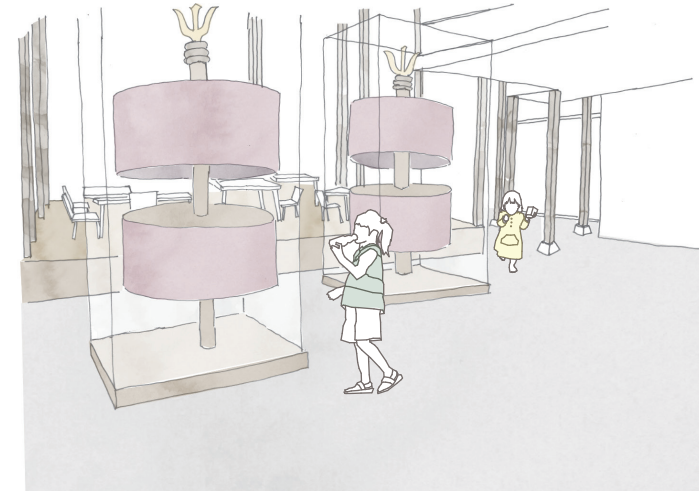


05. 平面計画 旧越家住宅



3. 土間：遊戯室

回遊性のある土間を走り回る



傘鉾の展示
→無形文化
に触れる

旧越家住宅を保育園に再生
→子供たちが日常的に
古いものと触れ合える

06. 立面計画

修景

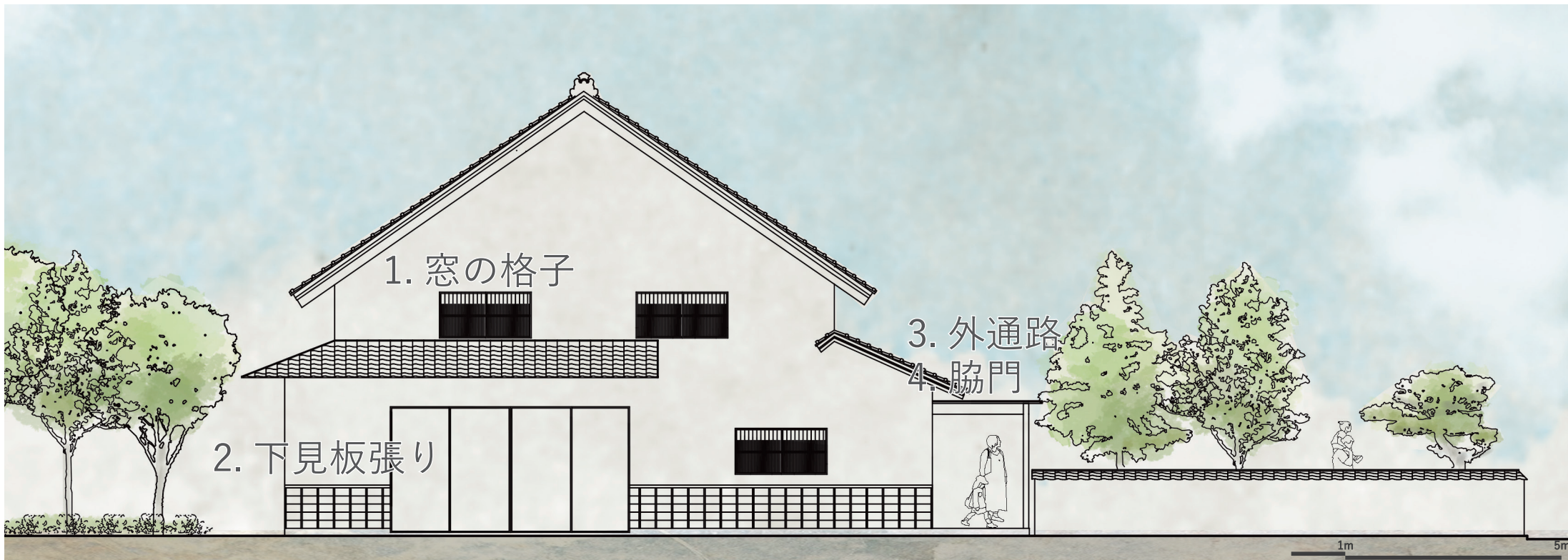
1. 窓の格子
2. 下見板張り
3. 外通路
4. 脇門

→ **新旧の区別**はしつつ、
須坂の町並みに**調和**



古いもの

新しいもの



ご清聴ありがとうございました

新旧が融合し、
須坂の文化をつなぐ場所となる

